**第１学年３組　道徳学習指導案**

**1 主題名**思いやり・親切

**2 資料名**「ぼくの　はな　さいたけど」（出典：東京書籍）

**3 本時の学習指導**

（1）ねらい　　身近な人たちに温かい心で接し、相手のことを考えて親切にしようとする心情を育てる。

（2）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 主な発問と予想される児童の反応 | 教師の支援 | 時間 |
| １「親切・思いやり」について発表することで、学習への意欲を高める。  ２資料「ぼくのはなさいたけど」を聞き登場人物と心に残ったことを確認する。  ３トトの気持ちを話し合う。  　場面①  　トトはお母さんのために花を育てている  　場面②  　モイラがトトの育てた花をとっている  　場面③  　お母さんが涙を流して喜ぶ  ４母の言葉を聞き親切について話し合う。    ４まとめの学習 | ○今までにどんな親切をしたこと、またはされたことがありますか。  ・けがをした友達を保健室に連れて行ってあげた。  ・教科書を忘れた時に貸してもらった。  ○お話の中には誰がでてきたかな。  ・トト  ・モイラ  ・トトのお母さん  ○心に残ったことはありますか。  ・トトがモイラに花を残していた。  ・トトのお母さんが花を喜んでくれた。  ○花を育てているトトはどんな気持ちでしょう。  ・お母さんに喜んでもらいたい。  ○モイラが花をとっていることを知ったトトはどんな気持ちだったでしょう。  ・お母さんのためにせっかく育てたのに・・・  ○お母さんの言葉を聞いてどう思ったでしょう。  ・お母さん一本でも喜んでくれた。  ・モイラにも残してよかった。  ○お母さんがトトから一本の花をもらってとても喜んだのはなぜでしょう。  ・トトが自分のことよりもモイラのことを考えたことがうれしかったから。  ・自分だけではなくモイラ・も、モイラのお母さんも喜んだから。  ○トトやトトのお母さんの気持ちを考えて、これから友達や家族にどうしていきたいですか。  ・お母さんが困っていたらお手伝いしたい。  ・これからももっと人のために親切にしていきたい。 | ○親切にした体験を引き出し認めることで本時の学習への意欲を高める。  ○登場人物と心に残った場面を聞くことで話を整理しトトの気持ちを考える環境を整える。  ○母のために一生懸命花畑の世話をするトトの気持ちを捉えさせる。  ○せっかく育てた花を摘まれたトトの気持ちを捉えさせる。  ○お母さんに喜んでもらい自分の行動が価値あるものと気づいたトトの気持ちを考えさせる。  ○トトの心情を整理した後、母の視点で見直すことで「相手のことを思いやった親切のよさ」に気づくことが出来るようにする。  ○本当に相手のことを思いやってする親切は、自分が心から助けたい気持ちですることであると気づけるようにする。 | 5  20  10  10 |

**4 備考**　在籍児童数　34名

**5 板書計画**

おかあさんのためにせっかくそだてたのに。。。

いままでにしたしんせつ

けがをしたともだちをほけんしつにつれて行ってあげた

　ぼくの　はな　さいたけど

　　トト　モイラ　トトのおかあさん

○トトのきもち

おかあさんによろこんでもらいたい。

　おかあさん一ぽんでもよろこんでく

れた

モイラにものこしてよかった

　　○おかあさんのきもち

　トトがじぶんのことよりもモイラの

ことをかんがえたのがうれしい